

平成27年度 地産地消推進全国フォーラム 開催報告

■開催日時：平成27年11月26日（木）13：00～17：00

■開催場所：イイノホール&カンファレンスセンター 4階 RoomA
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目1-1
電話 03-3506-3251

■参加人数：97名

■主催：（一財）都市農山漁村交流活性化機構、全国地産地消推進全国協議会

■実施プログラム（敬称略）

13：00 開会・挨拶

（一財）都市農山漁村交流活性化機構 専務理事	山野 昭二
農林水産副大臣	齋藤 健
文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課長	和田 勝行

13：20 表彰式・写真撮影

- ・平成27年度地産地消優良活動表彰
- ・第8回地産地消給食等メニューコンテスト

13：50 審査講評

地産地消優良活動表彰 審査委員長	
全国地産地消推進協議会 副会長	永木 正和
（筑波大学 名誉教授）	

地産地消給食等メニューコンテスト 審査委員長	
服部栄養専門学校 校長	服部 幸應

14：30 応援メッセージ

全国地産地消推進協議会 会長	小泉 武夫
----------------	-------

15：00 受賞事例発表（6団体）

■平成27年度地産地消優良活動表彰

農林水産大臣賞（地域振興部門）

あいとう直売館（滋賀県東近江市）

農林水産大臣賞（交流促進部門）

株式会社アグリノ里おいらせ（青森県おいらせ町）

全国地産地消推進協議会会長賞

農事組合法人 うりぼう（三重県いなべ市）

■第8回地産地消給食等メニューコンテスト

農林水産大臣賞（学校給食・社員食堂部門）

彦根市立病院（滋賀県彦根市）

農林水産大臣賞（外食・弁当部門）

株式会社アクアフードジャパン（長野県長野市）

文部科学大臣賞（学校給食・社員食堂部門）

越前町立朝日学校給食センター（福井県越前町）

16：20 受賞者1分スピーチ・審査委員コメント

■平成27年度地産地消優良活動表彰

農林水産省 食料産業局長賞

株式会社スタイルスグループ（宮城県仙台市）

なすとらん倶楽部（栃木県那須町）

一般財団法人南アルプスふるさと活性化財団（山梨県早川町）

永平寺四季食彩館 れんげの里出荷組合（福井県永平寺町）

城川町生活研究協議会加工部（奥伊予工房）（愛媛県西予市）

■第8回地産地消給食等メニューコンテスト

農林水産省 食料産業局長賞

住田町学校給食センター（岩手県住田町）

本巣市学校給食センター（岐阜県本巣市）

箕輪町立箕輪中学校（長野県箕輪町）

最上総合支庁 お食事処 千起（山形県新庄市）

社会福祉法人 あすなろ会 かがの保育園（岩手県盛岡市）

株式会社 知久（静岡県浜松市）

株式会社 ビストロくるるん（福岡県大木町）

地産地消給食等メニューコンテスト審査委員特別賞

小川農園 株式会社（兵庫県姫路市）

17：00 閉 会

実施の内容

平成 27 年 11 月 26 日(木)に、イイノホール&カンファレンスセンター 4 階 RoomA (東京都千代田区)にて、平成 27 年度地産地消推進全国フォーラムを開催しました。

本フォーラムでは、平成 27 年度地産地消優良活動表彰(以下、優良活動表彰。)と、第 8 回地産地消給食等メニューコンテスト(以下、メニューコンテスト。)の表彰式を行い、農林水産大臣賞は、齋藤健 農林水産副大臣より、農林水産省食料産業局長賞は、櫻庭英悦 農林水産省食料産業局長より、文部科学大臣賞は和田勝行 文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課長より賞状が授与されました。

また、優良活動表彰の中から選ばれました、全国地産地消推進協議会会長賞は、小泉武夫会長(東京農業大学名誉教授)より、メニューコンテストの審査委員特別賞は、審査委員長である、服部幸應氏(服部栄養専門学校校長)より、それぞれ賞状が授与され、舞台上で記念撮影を行いました。

優良活動表彰の審査講評は、優良活動表彰の審査委員長の永木正和氏(筑波大学名誉教授)より話をいただき、メニューコンテストは服部幸應氏より、審査講評とあわせて、世界の中から見て、自分の国の食や健康を支えるためには、地域で採れたものを地域で食べる地産地消の取組は、ますます重要であるとのお話をいただきました。

次に、応援メッセージとして、発酵学の第一人者でもある小泉武夫氏より、学校給食で地元のものを食べて育つ子ども達は、自分たちの住んでいる地域が好きになる事例にふれ、地産地消の第一線での活躍にエールを送りました。

続いて、今年度の受賞事例発表として、優良活動表彰から、「あいとう直売館(滋賀県東近江市)」、「株式会社アグリ(青森県おいらせ町)」、「越前町立朝日学校給食センター(福井県越前町)」の 3 事例、メニューコンテストから、「彦根市立病院(滋賀県彦根市)」、「株式会社アクアフードジャパン(長野県長野市)」、「越前町立朝日学校給食センター(福井県越前町)」から、各 10 分ずつ、地産地消の取組について紹介を行いました。どの事例も、地元の食材を大事に、生産者や行政等と連携を図りながら、生き生きと活動されており、とても内容の濃い発表となりました。

続いて、食料産業局長賞並びに、メニューコンテスト審査委員特別賞の受賞者より、1 分間のスピーチを頂きました。短い時間ではありましたが、地産地消や食育に取り組む思いを伺うことが出来ました。会場には、それぞれの審査委員もお越しいたいただき、優良活動表彰では、野見山委員(東京農工大学大学院教授)、中村委員(京都府立大学講師)、メニューコンテストでは、金田委員(女子栄養大学客員教授)、浦上委員(元 J A 高岡高岡市農業センター)から、コメントをいただき、閉会いたしました。

当日は、100 名近い皆さまに会場へお越しいたいただき、盛会に開催することができました。ご来場をいただきました皆さまに御礼を申し上げますとともに、改めまして、受賞されました皆さま、おめでとうございます。

表彰事業の記念撮影



【記 念 撮 影】平成27年度地産地消優良活動表彰



【記 念 撮 影】第8回 地産地消給食等メニューコンテスト

当日の様子



山野昭二 (一財)都市農山漁村交
流活性化機構 専務理事



齋藤健 農林水産副大臣(来賓)



和田勝行 文部科学省
健康教育・食育課長(来賓)

平成27年度 地産地消推進全国フォーラム

主催：(一財)都市農山漁村交流活性化機構、全国地産地消推進協議会



表彰式の様子
(農林水産大臣賞の授与)

平成27年度 地産地消推進全国フォーラム

主催：(一財)都市農山漁村交流活性化機構、全国地産地消推進協議会



表彰式の様子
(文部科学大臣賞の授与)



【審査講評】
永木正和氏 筑波大学名誉教授



【審査講評・講演】
服部幸應氏
服部栄養専門学校 校長



【応援メッセージ】
小泉武夫 氏
全国地産地消推進協議会 会長



【受賞事例紹介】
あいとう直売館 藤関様



【受賞事例紹介】
アグリノ里おいらせ 橘様



【受賞事例紹介】
うりぼう 日紫喜様



【受賞事例紹介】
彦根市立病院 大橋 様



【受賞事例紹介】
(株)アクアフードジャパン 丸山様



【受賞事例紹介】
越前町立朝日学校給食センター
藤田様



【1分間スピーチ】
地産地消優良活動表彰



【1分間スピーチ】
地産地消給食等メニューコンテスト



参加者アンケート（集計）

■参加者の所属 ※（ ）内は数。

- | | |
|---------------|-----|
| (1) 消費者・消費者団体 | (0) |
| (2) 学校給食関係者 | (5) |
| (3) 農業者・農業者団体 | (1) |
| (4) 民間企業 | (2) |
| (5) 行政関係 | (7) |
| (6) その他 | (2) |

■フォーラムの感想 ※（ ）内は数。

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) とても興味深かった | (8) |
| (2) 興味深かった | (8) |
| (3) 普通 | (1) |
| (4) あまり興味がひかれなかった | (0) |
| (5) 興味がひかれなかった | (0) |

■感想

- ・大変参考になります。たくさんの発見がありました。
- ・服部先生の食料自給のお話は、とても勉強になりました。しかし今後、日本の自給率を上げるには、加工品の材料の地産地消に取り組んで行かなければ、今以上の数字は難しいのではないかと、いち消費者として感じます。
- ・受賞事例が大変良かったと思います。
- ・国の方針、方向性、自給率の低さに対しての対策等や、有識者等の講演等があれば良いと思いました。せっかく開催するのであれば、もう少し人が集まるものにしてはどうかと思います。最後の審査委員お二人（女性）の講評が良かったです。
- ・各市町、団体の取り組みを知ることが出来た。自分たちの場所にも生かしていきたい。
- ・永木先生、服部先生、小泉先生のお話が聞けてとても良かったです。
- ・学校給食への地場産の参入がむずかしいところを上手く農家と連携しているところ、参考になったし、ヒントを得ました。
- ・学校給食の取組みが参考になった。
- ・各賞の評価等一言でもお聞き出来たらうれしかったです。

■今後、取り上げて欲しいテーマ

- ・外国での取組事例の紹介
- ・事例発表の時間をもっと長くしてほしい。質問時間など。
- ・若い農業人の取組
- ・日本の食料自給に対する内容、また他国と比べて日本の自給力について考えさせるもの
- ・地域に近いところでのセミナーを開けるよう、各県等へ支援できないか

- ・農産物を通じて、異業種交流のフォーラムもいいなと思いました。

■国の事業等への希望

- ・国産品の普及の意味も含めて、各地産地消食材の他県への調達方法等の研究事業
- ・だしの食育、油を使わない食育
- ・加工食品に対する品質表示の強化。加工品内の材料の原産地まで義務化してほしいです。消費者が国産商品を更に選択しやすくしてほしい
- ・地産地消を推進するコーディネーターを育てて、地域で活躍するための支援
- ・服部先生や小泉先生が話をしたように、今後の日本の食料自給率が大変心配です。もっと色々な人が農業の現状を知ってもらえるように、農業体験等取り入れて欲しい、
- ・食育の推進のための栄養教諭等の増員
- ・学校給食の給食費補助で子どもたちによい食材を提供してほしい
- ・6次産業化補助の強化

■その他

- ・発表のみではなく、交流の場（会食）等があってほしい。（個々に交流が出来たら良い）
- ・地産地消は次のステージに入ったように思える。観光、障がい者、他との連携など、これからは、「ただの地産地消じゃない」がテーマになると考える。

平成 2 7 年度
地産地消優良活動表彰
地産地消給食等メニューコンテスト
受 賞 事 例 紹 介

平成 2 7 年 1 1 月 2 6 日
(一財)都市農山漁村交流活性化機構
全国地産地消推進協議会

平成27年度 地産地消優良活動表彰

■平成27年度 地産地消優良活動表彰の審査結果について

1 地産地消優良活動表彰の概要

6次産業化を進める上で重要な地産地消の取組を一層促進するため、全国各地で、それぞれの立地条件を活かした創意工夫のある様々な地産地消の取組・活動を募集し、審査委員会による審査を経て、その成果や持続性等について選考の上、表彰する。

なお、地産地消優良活動表彰は平成17年度から実施しており、本年度は10回目である。

2 選定の経緯

- (1) 推薦期間：平成27年6月2日～7月31日
- (2) 地方農政局等を経由して推薦のあった34件の中から、平成27年10月2日に開催した審査委員会及び10月中に実施した現地審査において、農林水産大臣賞候補2件、食料産業局長賞候補5件、全国地産地消推進協議会会長賞候補1件を選定した。

【地産地消優良活動表彰 審査委員名簿（敬称略）】

氏 名	所 属
秋岡 榮子	経済エッセイスト
勝本 吉伸	株式会社シンセニアン 代表取締役
永木 正和（審査委員長）	国立大学法人筑波大学名誉教授
中村 貴子	京都府立大学 講師
野見山 敏雄	国立大学法人東京農工大学大学院教授

<応募条件>

参加者は、地域で地産地消の取組・活動を行っている団体（企業、法人、任意団体、NPO、地産地消の推進を行っている協議会等）又は個人であって、次に掲げる地産地消に係る活動・取組のうちいずれか1以上を行っている者。

(1) 地域振興部門

- ア 学校給食又は事業所（企業等の社員食堂、病院、福祉施設等）での給食等における地域の農林水産物の利用促進
- イ 地域の直売所、加工施設、農家レストラン等における地域の農林水産物の利用促進
- ウ 量販店等における地域の農林水産物の利用促進（インショップの展開、地域の農林水産物を利用した弁当等の新商品の開発・販売等）
- エ 地域の伝統料理や伝統作物、伝統文化を活用

- オ 地域の未利用資源の発掘・活用の促進
- カ 地産地消を活かした産地づくりや遊休農地の解消
- キ 地産地消と環境保全、地域循環システムを結び付けた活動
- ク 地域振興に資する地産地消の活動の核となる人材の育成
- ケ その他地域の振興につながる地産地消に係る活動・取組

(2) 交流促進部門

- ア 地産地消と食育、食農教育を結び付けた活動
- イ 消費者との交流及びニーズを踏まえた地域の農林水産物の生産、新商品の開発、販売
- ウ 都市部等の他地域との交流による地産地消
- エ 観光業等他業種との連携による地産地消の活動
- オ 体験農業や観光農園、市民農園の推進等による生産者と消費者の交流活動（啓発、体験等）
- カ 交流促進に資する地産地消の活動の核となる人材の育成
- キ その他消費者と生産者の交流の促進につながる地産地消に係る活動・取組

<審査基準>

地産地消優良活動表彰実施要領の審査基準に照らし、優れたものについて表彰

平成27年度 地産地消優良活動表彰 受賞者一覧

1 農林水産大臣賞

(地域振興部門)

あいとう直売館（滋賀県東近江市）

(交流促進部門)

株式会社アグリノ里おいらせ（青森県おいらせ町）

2 農林水産省 食料産業局長賞

株式会社スタイルスグループ（宮城県仙台市）

なすとらん倶楽部（栃木県那須町）

一般財団法人南アルプスふるさと活性化財団（山梨県早川町）

永平寺四季食彩館 れんげの里出荷組合（福井県永平寺町）

城川町生活研究協議会加工部（奥伊予工房）（愛媛県西予市）

3 全国地産地消推進協議会長賞

農事組合法人 うりぼう（三重県いなべ市）

第8回地産地消給食等 メニューコンテスト

■第8回地産地消給食等メニューコンテストの審査結果について

1 地産地消給食等メニューコンテストの概要

地産地消の取組を一層促進するため、学校給食、社員食堂、外食・弁当等において、生産者との交流促進等の取組を行いつつ、地場農林水産物の食材を活用しているメニューを募集し、審査委員会による審査を経て優れたものを選考の上、表彰する。

なお、メニューコンテストは平成20年度から実施しており、本年度で8回目の実施である。

2 選定の経緯

(1) 公募期間：平成27年6月2日～7月15日

(2) 地方農政局等を経由して応募のあった129件の中から、平成27年10月7日に開催した審査委員会において、農林水産大臣賞候補2件、文部科学大臣賞候補1件、食料産業局長賞候補7件、審査委員特別賞1件を選定。

【「地産地消給食等メニューコンテスト」審査委員名簿（敬称略）】

氏 名	所 属
浦上 節子	農業者（元JA高岡 高岡市農業センター 副所長）
柏田 幸二郎	かさね 料理長
金田 雅代	女子栄養大学客員教授
永木 正和	国立大学法人筑波大学名誉教授
服部 幸應（審査委員長）	服部栄養専門学校 校長
山際 博美	山際食彩工房 代表

<応募条件>

- ① 地産地消メニューの食材として、地場農林水産物を利用していること
- ② 地産地消メニューを継続的に提供していること
- ③ 地産地消メニューの食材として地場農林水産物を安定的に調達するため、学校や事業所等が所在する地域の生産者等と連携しているなどの取組があること
- ④ 児童や保護者、喫食者等に対する食育や地域農業等への理解促進の取組があること

<審査基準>

地産地消給食等メニューコンテスト実施要領の審査基準に照らし、優れたものについて表彰

第8回 地産地消給食等メニューコンテスト 受賞者一覧

I 学校給食・社員食堂部門

1 農林水産大臣賞

受賞者	受賞メニュー
彦根市立病院 (滋賀県彦根市)	初夏の地産地消(滋賀県産ごはん、滋賀県産ビワマスの香草パン粉焼き、近江牛ミンチのそばろ煮、彦根産きゅうりの酢醤油和え、ブランマンジェ(愛東メロンソース))

2 文部科学大臣賞

受賞者	受賞メニュー
越前町立朝日学校給食センター (福井県越前町)	100%地場産「えち膳の日」献立(有機玄米ご飯、牛乳、イカゲソから揚げゆかり風味、小松菜とわかめの梅肉あえ、にゅうカレー、きゅうちゃん漬、いちごゼリー)

3 農林水産省 食料産業局長賞

受賞者	受賞メニュー
住田町学校給食センター (岩手県住田町)	春のすみたっ子給食(ごはん、牛乳、清流豚のバツケ味噌焼き、わらびと切干大根の酢の物、すみた山の恵み汁)
本巣市学校給食センター (岐阜県本巣市)	豚肉の生姜焼き混ぜご飯、牛乳、厚あげのきのこ和風だしあんかけ、小松菜の煮びたし、みそけんちん汁、いちご(美濃娘)
箕輪町立箕輪中学校 (長野県箕輪町)	発芽玄米ごはん、牛乳、箕輪フェンシング丼、野沢菜刻み漬け、信州ベジ多みそ汁、ブルーベリー
最上総合支庁 お食事処 千起 (山形県新庄市)	梅雨の憂いを吹き飛ばせ!心を整える。定食(最上早生の蕎麦ボナーラ、ごはん、庄内産夏イカと最上赤にんにくのマリネ、達者 de 菜のゴマ和え、やまがた地鶏と大蔵産トマトのコンソメスープ、黒五葉のコーヒーゼリー、漬物)
社会福祉法人 あすなろ会 かがの保育園 (岩手県盛岡市)	七夕ランチ(たなばたちらし寿し、鶏肉と枝豆の中華煮、星麩のすまし汁、果物、フルーツゼリー、星せんべい)

Ⅱ 外食・弁当部門

1 農林水産大臣賞

受賞者	受賞メニュー
株式会社 アクアフードジャパン (長野県長野市)	信州産ポークときのこの「スパイシートマトカレー」セット(スパイシートマトカレー、豆乳とスムージーのスープ(気泡クリーム)、豆苗サラダ、コーヒー)

2 農林水産省 食料産業局長賞

受賞者	受賞メニュー
株式会社 知久 (静岡県浜松市)	野菜美人弁当(黒米入りごはん、菜めし、切干大根煮、かぼちゃ煮、竹の子煮、椎茸煮、茹オクラ、男爵コロッケ、小松菜ごま和え、人参煮、茹ブロッコリー、レタス、ししとう素揚げ、ミニトマト、ゴーヤチャンプル)
株式会社 ビストロくるるん (福岡県大木町)	夏の元気ビッフェ(黒豆玄米ご飯、具たくさん味噌汁、イカと夏野菜の塩だれ炒め、トマトの土佐酢ジュレ、白和え、新じゃがのごろっと味噌煮、なすの揚げびたし、ころころエリンギ、アスパラときゅうりの梅肉和え、いちじく)

3 審査委員特別賞

受賞者	受賞メニュー
小川農園 株式会社 (兵庫県姫路市)	パスタソリーゾランチ(ラビオリ、サラダ、アランチーノ、お米ケーキ)